1　集　団　検　診

1 調査目的

がん検診における発見がん患者の精密検査結果の詳細を把握することにより、検診の評価を行い、精度管理の維持・向上を図る。

2 調査対象

令和4年度の地域検診における胃・肺・大腸・子宮頸・乳・前立腺の各がん検診受診者のうち、精密検査結果が「がん」または「がん疑い」と報告のあった者

3 調査内容

調査内容は、当事業団が実施した胃・肺・大腸・子宮頸・乳・前立腺の各がん検診における発見がん患者の精密検査結果および治療状況等とし、各がん取り扱い規約に基づいた内容について更なる詳細結果（報告）を求めた。

1] 取得方法

調査依頼先に対象者の発見がん追跡調査票を書留にて郵送し、回収した。

2] 調査依頼先

対象者の精密検査結果報告が提供された医療機関、または紹介先医療機関

3] 調査期間

初回調査：令和5年9月　・・・調査票回収期限：令和5年9月29日
再 調 査：令和5年11月・・・調査票回収期限：令和5年11月30日
※再調査は、下記の場合に実施
⑴ 初回調査の結果、転院が判明した者
⑵ 初回調査後、新たに精密検査結果が「がん」または「がん疑い」と報告のあった者

4 用語の解説

1] 精密検査結果内訳

精 検 受 診：医療機関より精検結果の報告があった者。または、要精検者からの報告で精検受診日・精検法・精検結果・精検医療機関の4項目が揃っている者
精検未把握：精検受診の有無が不明な者。または精検を受診していても精検結果が正確に分からない者
精検未受診：精検を受診していても不適切な精検が行われた者。または、精検未受診が判明している者

2] 発見がん追跡調査

追跡調査対象者数：精密検査結果でがん又はがん疑いと報告を受けた者（精検未把握者の者のうちがん又はがん疑いの者を含む）
詳細把握：発見がん追跡調査前に、がんと判明しかつその詳細結果を把握できた者
がん以外：発見がん追跡調査前に、がん以外の疾患であることを把握できた者
そ の 他：初回調査及び再調査実施後、新たに医療機関よりがん又はがん疑いと精検結果の報告を受け、今回の調査期間中に調査を実施出来なかった者やがんと判明しているものの精検医療機関が不明な者等

令和４年度　地域検診における発見がん追跡調査結果

令和6年1月31日現在

	胃がん	肺がん		大腸がん
	X腺	胸部X線	胸部CT	
受診者数	39,045	77,616	873	75,514
要精検者数	2,532	1,871	40	3,558
要精検率（%）	6.5	2.4	4.6	4.7
精検受診者数	2,104	1,639	37	2,368
精検受診率（%）	83.1	87.6	92.5	66.6
追跡調査回収率（%）	100.0	98.6	100.0	99.3
発見がん数	37	67	2	123
がん発見率（%）	0.09	0.09	0.23	0.16
早期がん割合*（%）	97.3	52.2	0.0	57.7
陽性反応適中度（%）	1.5	3.6	5.0	3.5

	子宮頸がん			乳がん	前立腺がん
	細胞診のみ	ASC-US時HPV追加	HPV併用		
受診者数	1,380	26,831	9,021	48,476	26,634
要精検者数	43	516	571	2,032	2,103
要精検率（%）	3.1	1.9	6.3	4.2	7.9
精検受診者数	32	420	510	1,826	1,642
精検受診率（%）	74.4	81.4	89.3	89.9	78.1
追跡調査回収率（%）	75.0	100.0	100.0	98.4	94.6
発見がん数	0	4	6	160	154
がん発見率（%）	0.00	0.01	0.07	0.33	0.58
早期がん割合*（%）	−	75.0	0.0	77.5	79.9
陽性反応適中度（%）	0.0	0.8	1.1	7.9	7.3

*肺がんは0 ～ I期、子宮頸がんはIA期を計上。

【付表1】令和３年度 栃木県におけるがん検診実施状況（栃木県がん検診実施状況報告書より）

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
受診者数	72,965	163,830	162,091	85,889	75,961
要精検率（%）	7.14	1.85	5.59	2.57	3.46
精検受診率（%）	84.4	82.4	67.2	86.8	91.1

【付表2】令和４年度 日本対がん協会全国集計におけるがん検診実施状況（住民）
（日本対がん協会がん検診年次報告書より）

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん
受診者数	1,699,368	2,798,244	2,427,675	1,111,922	1,095,875	419,036
要精検率（%）	4.1	2.0	5.4	1.4	4.1	6.5
精検受診率（%）	80.8	81.2	65.5	83.1	88.1	63.9

【付表3】がん検診に関する事業評価指標と許容値及び目標値
（がん検診の事業評価に関する委員会報告書より）

		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
精検受診率	許容値	70.0%以上	70.0%以上	70.0%以上	70.0%以上	80.0%以上
	目標値	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上
要精検率	許容値	11.0%以下	3.0%以下	7.0%以下	1.4%以下*	11.0%以下*
がん発見率	許容値	0.11%以上	0.03%以上	0.13%以上	0.05%以上*	0.23%以上*
陽性反応適中度	許容値	1.0%以上	1.3%以上	1.9%以上	4.0%以上*	2.5%以上*

*乳がん検診、子宮がん検診の要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は参考値とする

胃がん検診

【胃Ｘ線検査】

1 検診実施状況

	受診者数	要精検者数（%）	
男	17,539	1,513	(8.6)
女	21,506	1,019	(4.7)
総数	39,045	2,532	(6.5)

2 精検結果内訳

	精検受診																精検未把握	精検未受診	総数
	早期がん	進行がん	がん疑い	食道がん	その他の悪性腫瘍	粘膜下腫瘍	胃潰瘍	胃潰瘍瘢痕	十二指腸潰瘍	十二指腸潰瘍瘢痕	胃ポリープ	異型上皮	萎縮性胃炎	その他の胃炎	その他の疾患	異常なし			
男	24	5	14	0	1	28	17	76	10	27	126	3	612	91	61	118	233	67	1,513
女	5	1	1	1	0	48	11	19	4	11	159	1	412	62	47	109	106	22	1,019
総数	29	6	15	1	1	76	28	95	14	38	285	4	1,024	153	108	227	339	89	2,532

3 発見がん追跡調査結果

1］調査状況

	追跡調査対象者数(a)	調査除外内訳 詳細把握（b）	がん以外（c）	その他（d）	調査数 (a-(b+c+d))	回収数(%)	
男	43	0	0	1	42	42	(100.0)
女	7	0	1	0	6	6	(100.0)
総数	50	0	1	1	48	48	(100.0)

2］調査結果内訳（調査数及び調査前に発見がんの詳細を把握していた数を合わせた詳細）

	確定がん 早期(%)	進行(%)	不明(%)	食道がん(%)	良性疾患(%)	異常なし(%)	未確定(%)	追跡不能(%)
男	31(73.8)	1(2.4)	0(0.0)	0(0.0)	10(23.8)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
女	5(83.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(16.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
総数	36(75.0)	1(2.1)	0(0.0)	0(0.0)	11(22.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

3］発見がん内訳

		受診者数	要精検者数(%)		精検受診者数(%)		発見がん数(%)	
男	39歳以下	202	5	(2.5)	5	(100.0)	0	(0.00)
	40～44歳	924	32	(3.5)	23	(71.9)	0	(0.00)
	45～49歳	1,207	48	(4.0)	36	(75.0)	0	(0.00)
	50～54歳	1,210	57	(4.7)	34	(59.6)	0	(0.00)
	55～59歳	1,056	66	(6.3)	46	(69.7)	0	(0.00)
	60～64歳	1,812	126	(7.0)	91	(72.2)	1	(0.06)
	65～69歳	3,621	361	(10.0)	294	(81.4)	6	(0.17)
	70～74歳	4,675	505	(10.8)	415	(82.2)	8	(0.17)
	75～79歳	2,559	291	(11.4)	252	(86.6)	17	(0.66)
	80歳以上	273	22	(8.1)	17	(77.3)	0	(0.00)
	計	17,539	1,513	(8.6)	1,213	(80.2)	32	(0.18)
女	39歳以下	346	11	(3.2)	11	(100.0)	0	(0.00)
	40～44歳	1,854	32	(1.7)	28	(87.5)	0	(0.00)
	45～49歳	2,181	50	(2.3)	41	(82.0)	0	(0.00)
	50～54歳	2,173	56	(2.6)	41	(73.2)	0	(0.00)
	55～59歳	2,030	74	(3.6)	61	(82.4)	0	(0.00)
	60～64歳	2,782	133	(4.8)	118	(88.7)	0	(0.00)
	65～69歳	3,915	221	(5.6)	194	(87.8)	1	(0.03)
	70～74歳	4,285	281	(6.6)	252	(89.7)	3	(0.07)
	75～79歳	1,860	150	(8.1)	137	(91.3)	1	(0.05)
	80歳以上	80	11	(13.8)	8	(72.7)	0	(0.00)
	計	21,506	1,019	(4.7)	891	(87.4)	5	(0.02)
	総数	39,045	2,532	(6.5)	2,104	(83.1)	37	(0.09)

4] 発見がんの詳細

深達度	早期		進行				不明
	M	SM	MP	SS	SE	SI	
男	26	5	0	1	0	0	0
女	3	2	0	0	0	0	0
総数	29	7	0	1	0	0	0

5] 早期・進行別発見数

	深達度	発見数	総数	(%)
早期	M	29	36	(97.3)
	SM	7		
進行	MP	0	1	(2.7)
	SS	1		
	SE	0		
	SI	0		
総数		37	37	(100.0)

6] 肉眼的分類別発見数

肉眼的分類	発見数
0型 Ⅰ	2
0型 Ⅱa	8
0型 Ⅱa+Ⅱc	5
0型 Ⅱb	2
0型 Ⅱc	19
0型 Ⅱc+Ⅱa	0
1型	0
2型	1
3型	0
4型	0
5型	0
総数	37

7] 進行度分類（病理）別発見数

進行度	発見数
ⅠA	36
ⅠB	0
ⅡA	1
ⅡB	0
ⅢA	0
ⅢB	0
ⅢC	0
Ⅳ	0
不明	0
総数	37

8] 部位（壁在）分類別発見数

	早期	進行	総数
前壁	7	0	7
後壁	9	1	10
大彎	4	0	4
小彎	16	0	16
全周	0	0	0
総数	36	1	37

9] 部位（UML）分類別発見数

	早期	進行	総数
U	2	0	2
UM	0	1	1
MU	1	0	1
M	6	0	6
ML	7	0	7
LM	4	0	4
L	16	0	16
全体	0	0	0
総数	36	1	37

10] 組織型分類別発見数

組織型	発見数
pap	0
tub1	26
tub2	8
por1	1
por2	1
por(1,2不明)	0
sig	1
muc	0
特殊型	0
総数	37

11] 治療分類別発見数

	発見数
外科手術	2
腹腔鏡下手術	12
内視鏡的治療	22
化学療法	0
無治療	0
未記入	1
その他	0
総数	37

12] 初回・非初回別発見数

		受診者数	要精検者数	精検受診者数(%)	発見数(%)	発見がん内訳 早期(%)	進行(%)
初回	男	3,947	433	334 (77.1)	9 (0.23)	9 (100.0)	0 (0.0)
初回	女	4,829	313	264 (84.3)	2 (0.04)	2 (100.0)	0 (0.0)
初回	計	8,776	746	598 (80.2)	11 (0.13)	11 (100.0)	0 (0.0)
非初回	男	13,592	1,080	879 (81.4)	23 (0.17)	22 (95.7)	1 (4.3)
非初回	女	16,677	706	627 (88.8)	3 (0.02)	3 (100.0)	0 (0.0)
非初回	計	30,269	1,786	1,506 (84.3)	26 (0.09)	25 (96.2)	1 (3.8)
総数		39,045	2,532	2,104 (83.1)	37 (0.09)	36 (97.3)	1 (2.7)

※令和5年度地域保健・健康増進事業報告より、
初　回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も胃がん検診を受診していない者
非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上胃がん検診を受診している者

【胃がんリスク層別化検診】

1 検診実施状況

1］判定区分

	異常認めず	要二次検査		
	A群	B群	C群	D群
ペプシノゲン検査	−	−	+	+
ヘリコバクター・ピロリ抗体検査	−	+	+	−

2］判定区分内訳

年　齢	受診者数	A群 (%)	B群 (%)	C群 (%)	D群 (%)	B+C+D群 (%)
39歳以下	284	239 (84.2)	23 (8.1)	16 (5.6)	6 (2.1)	45 (15.8)
40 ～ 44歳	529	461 (87.1)	38 (7.2)	23 (4.3)	7 (1.3)	68 (12.9)
45 ～ 49歳	428	368 (86.0)	28 (6.5)	24 (5.6)	8 (1.9)	60 (14.0)
50 ～ 54歳	439	349 (79.5)	41 (9.3)	34 (7.7)	15 (3.4)	90 (20.5)
55 ～ 59歳	330	275 (83.3)	26 (7.9)	23 (7.0)	6 (1.8)	55 (16.7)
60 ～ 64歳	452	361 (79.9)	33 (7.3)	45 (10.0)	13 (2.9)	91 (20.1)
65 ～ 69歳	599	452 (75.5)	56 (9.3)	62 (10.4)	29 (4.8)	147 (24.5)
70 ～ 74歳	684	480 (70.2)	97 (14.2)	74 (10.8)	33 (4.8)	204 (29.8)
75 ～ 79歳	36	25 (69.4)	2 (5.6)	6 (16.7)	3 (8.3)	11 (30.6)
総　数	3,781	3,010 (79.6)	344 (9.1)	307 (8.1)	120 (3.2)	771 (20.4)

3］性別要二次検査者数

	受診者数	要二次検査者数 (%)
男	1,296	301 (23.2)
女	2,485	470 (18.9)
総数	3,781	771 (20.4)

2 二次検査結果内訳（発見がん追跡調査前の二次検査結果）

	二次検査受診																総数
	早期がん	進行がん	がん疑い	粘膜下腫瘍	胃潰瘍	胃潰瘍瘢痕	十二指腸潰瘍・瘢痕	胃ポリープ	異型上皮	萎縮性胃炎	その他の胃炎	逆流性食道炎	その他の疾患	異常なし	二次検査未把握	二次検査未受診	
男	2	0	1	0	5	5	8	9	0	119	10	7	10	23	80	22	301
女	0	0	1	4	4	7	6	28	0	226	20	9	30	39	81	15	470
総数	2	0	2	4	9	12	14	37	0	345	30	16	40	62	161	37	771

3 発見がん追跡調査結果

1］調査状況

	追跡調査対象者数* (a)	調査除外内訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
男	3	0	0	0	3	3 (100.0)
女	1	0	0	0	1	1 (100.0)
総数	4	0	0	0	4	4 (100.0)

*追跡調査対象者数：二次検査結果でがん又はがん疑いと報告を受けた者。

2］調査結果内訳

	発見がん				良性疾患（%）		追跡不能（%）		未確定（%）	
	早期（%）		進行（%）							
男	1	(33.3)	0	(0.0)	1	(33.3)	0	(0.0)	1	(33.3)
女	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(100.0)	0	(0.0)
総数	1	(25.0)	0	(0.0)	1	(25.0)	1	(25.0)	1	(25.0)

3］発見がん内訳

		受診者数	要二次検査者数（%）		二次検査受診者数（%）		発見がん数（%）	
男	39歳以下	86	14	(16.3)	9	(64.3)	0	(0.00)
	40～44歳	138	27	(19.6)	16	(59.3)	0	(0.00)
	45～49歳	108	22	(20.4)	12	(54.5)	0	(0.00)
	50～54歳	128	27	(21.1)	17	(63.0)	0	(0.00)
	55～59歳	93	14	(15.1)	7	(50.0)	0	(0.00)
	60～64歳	168	39	(23.2)	32	(82.1)	1	(0.60)
	65～69歳	239	52	(21.8)	40	(76.9)	0	(0.00)
	70～74歳	320	100	(31.3)	65	(65.0)	0	(0.00)
	75～79歳	16	6	(37.5)	1	(16.7)	0	(0.00)
	80歳以上	0	−	−	−	−	−	−
	計	1,296	301	(23.2)	199	(66.1)	1	(0.08)
女	39歳以下	198	31	(15.7)	26	(83.9)	0	(0.00)
	40～44歳	391	41	(10.5)	25	(61.0)	0	(0.00)
	45～49歳	320	38	(11.9)	29	(76.3)	0	(0.00)
	50～54歳	311	63	(20.3)	51	(81.0)	0	(0.00)
	55～59歳	237	41	(17.3)	34	(82.9)	0	(0.00)
	60～64歳	284	52	(18.3)	37	(71.2)	0	(0.00)
	65～69歳	360	95	(26.4)	84	(88.4)	0	(0.00)
	70～74歳	364	104	(28.6)	84	(80.8)	0	(0.00)
	75～79歳	20	5	(25.0)	4	(80.0)	0	(0.00)
	80歳以上	0	−	−	−	−	−	−
	計	2,485	470	(18.9)	374	(79.6)	0	(0.00)
総数		3,781	771	(20.4)	573	(74.3)	1	(0.03)

4］リスク分類別発見がん

		B群	C群	D群
二次検査受診者数		255	222	96
発見がん数	男	1	0	0
	女	0	0	0
	計	1	0	0
陽性反応適中度（%）		(0.2)	(0.0)	(0.0)

5］令和4年度と前回受診年度の受診結果状況

令和4年度受診結果						前回受診結果	
胃がんリスク判定	検診方法	深達度	がん内訳	進行度	組織型	受診年度	検診方法（判定）
B群	X線＋リスク	SM	早期がん	ＩＡ	sig		受診歴なし

4 まとめ

令和4年度胃X線検査における追跡調査の結果は、胃がん発見率0.09%、要精検率6.5%、精検受診率83.1%、陽性反応適中度1.5%であった。胃がん発見率においては、がん検診事業評価指標値を満たしていない。要精検率は例年と比較して低くなっているが、陽性反応的中度は指標値を満たしており、発見がんのうち早期がん割合が高い結果となった。

早期がん割合は初回受診100.0%、非初回受診96.2%であった。発見された進行がんが非初回受診群の1名であったため、例年と違い初回受診群の方が高い結果となった。今後とも精検受診率を高めるための働きかけ、経年受診の必要性について周知していく必要があると考えられる。

令和4年度の胃がんリスク層別化検診は、7市3町において実施され、受診者数は3,781人（男性1,296人、女性2,485人）、二次検査の対象者数は771人、二次検査未把握と二次検査未受診を除く二次検査受診者数は573人で、二次検査受診率は74.3%であった。また、胃がん発見率は、1人（0.03%）で、陽性反応適中度は0.1%であった。

付表1　がん検診事業評価指標値との比較

		受診者数	要精検者数（%）	精検受診率（%）	発見がん数（%）	陽性反応適中度（%）
令和4年度		39,045	2,532（6.5）	（83.1）	37（0.09）	（1.5）
令和3年度		39,973	3,098（7.8）	（84.3）	54（0.14）	（1.7）
令和2年度		33,486	2,861（8.5）	（85.6）	34（0.10）	（1.2）
がん検診事業評価指標値	許容値		11.0以下	70.0以上	0.11以上	1.0以上
	目標値			90.0以上		

付表2　胃がんリスク層別化検診における発見がん調査結果

	受診者数	要二次検査者数（%）		二次検査受診率（%）	発見がん数（%）		陽性反応適中度（%）
令和4年度	3,781	771	（20.4）	（74.3）	1	（0.03）	（0.1）
令和3年度	3,704	800	（21.6）	（71.9）	4	（0.11）	（0.5）
令和2年度	2,758	551	（20.0）	（76.4）	8	（0.29）	（1.5）

肺がん検診

1 検診実施状況

1］肺がん検診

		受診者数	要精検者数*	
			D判定	E判定（%）
男	胸部X線	30,200	354	904 （3.0）
	胸部X線＋喀痰細胞診	1,634	35	69 （4.2）
	計	31,834	389	973 （3.1）
女	胸部X線	45,615	442	892 （2.0）
	胸部X線＋ 喀痰細胞診	167	2	6 （3.6）
	計	45,782	444	898 （2.0）
総数	胸部X線	75,815	796	1,796 （2.4）
	胸部X線＋ 喀痰細胞診	1,801	37	75 （4.2）
	総　数	77,616	833	1,871 （2.4）

*要精検者数 D判定は「肺癌以外の疾患を疑う」、E判定は「肺癌の疑い」及び喀痰細胞診でのみ要精検を含む。

2 精検結果内訳（肺がん検診要精検者E判定の精検結果内訳）

	精検受診													精検未把握	精検未受診	総数
	原発性肺がん	肺がん疑い	転移性肺腫瘍	悪性腫瘍以外の肺腫瘍	その他の悪性腫瘍	縦隔腫瘍	活動性肺結核疑い	不活動性肺結核疑い	肺結核治癒	その他の呼吸器疾患	循環器疾患	その他の異常	異常認めず			
男	12	83	6	3	0	3	0	5	4	355	7	32	291	147	25	973
女	4	60	2	7	0	0	1	3	7	314	13	26	401	56	4	898
総数	16	143	8	10	0	3	1	8	11	669	20	58	692	203	29	1,871

3 発見がん追跡調査結果

1］調査状況

	追跡調査対象者数（a）	調査除外内訳			調査数（a-(b+c+d)）	回収数 （%）
		詳細把握（b）	がん以外（c）	その他（d）		
男	95	0	7	1	87	85 （97.7）
女	64	0	5	0	59	59 （100.0）
総数	159	0	12	1	146	144 （98.6）

2］調査結果内訳

	発見がん			その他（%）	異常なし（%）	未確定（%）	追跡不能（%）
	Ⅰ期 （%）	Ⅰ期外（%）	不明（%）				
男	21 （24.1）	23 （26.4）	2 （2.3）	31 （35.6）	3 （3.4）	5 （5.7）	2 （2.3）
女	14 （23.7）	5 （8.5）	2 （3.4）	36 （61.0）	0 （0.0）	2 （3.4）	0 （0.0）
総数	35 （24.0）	28 （19.2）	4 （2.7）	67 （45.9）	3 （2.1）	7 （4.8）	2 （1.4）

3］発見がん内訳

		受診者数	要精検者数	(%)	精検受診者数	(%)	確定がん数	(%)
男	39歳以下	324	1	(0.3)	1	(100.0)	0	(0.00)
	40～44歳	1,172	14	(1.2)	12	(85.7)	0	(0.00)
	45～49歳	1,450	21	(1.4)	15	(71.4)	0	(0.00)
	50～54歳	1,491	28	(1.9)	23	(82.1)	1	(0.07)
	55～59歳	1,372	26	(1.9)	20	(76.9)	0	(0.00)
	60～64歳	2,569	68	(2.6)	50	(73.5)	4	(0.16)
	65～69歳	5,932	162	(2.7)	129	(79.6)	9	(0.15)
	70～74歳	8,574	288	(3.4)	236	(81.9)	13	(0.15)
	75～79歳	5,361	200	(3.7)	172	(86.0)	11	(0.21)
	80歳以上	3,589	165	(4.6)	143	(86.7)	8	(0.22)
	計	31,834	973	(3.1)	801	(82.3)	46	(0.14)
女	39歳以下	524	0	(0.0)	－	－	－	－
	40～44歳	2,848	14	(0.5)	12	(85.7)	0	(0.00)
	45～49歳	3,207	32	(1.0)	29	(90.6)	0	(0.00)
	50～54歳	3,113	29	(0.9)	29	(100.0)	0	(0.00)
	55～59歳	3,260	49	(1.5)	44	(89.8)	0	(0.00)
	60～64歳	5,063	97	(1.9)	90	(92.8)	1	(0.02)
	65～69歳	8,454	173	(2.0)	161	(93.1)	7	(0.08)
	70～74歳	10,630	214	(2.0)	200	(93.5)	9	(0.08)
	75～79歳	5,569	169	(3.0)	160	(94.7)	3	(0.05)
	80歳以上	3,114	121	(3.9)	113	(93.4)	1	(0.03)
	計	45,782	898	(2.0)	838	(93.3)	21	(0.05)
総数		77,616	1,871	(2.4)	1,639	(87.6)	67	(0.09)

4］検査方法別　発見がん数と発見率

	実施人数	要精検者数	(%)	精検受診者数	(%)	発見がん数	(%)
胸部X線	77,616	1,871	(2.4)	1,639	(87.6)	67	(0.09)
胸部CT	873	40	(4.6)	37	(92.5)	2	(0.23)
総数	78,489	1,911	(2.4)	1,676	(87.7)	69	(0.09)

5］検診実施状況（胸部CT検診）

	受診者数	要精検者数			精検受診者数	(%)
		D判定	E判定	(%)		
胸部CT	854	29	40	(4.7)	37	(92.5)
胸部CT＋喀痰細胞診	19	0	0	(0.0)	－	(－)

6］発見がん内訳（胸部CT検診）

年齢・性別	前年度受診	組織分類	臨床病期分類	治療分類
60代・女性	無	その他	ⅡB	手術
60代・男性	無	腺癌	ⅣB	化学療法

7］検診実施状況（喀痰細胞診＋胸部X線又は胸部CT）

	受診者数	要精検者数	(%)	発見がん数	(%)
喀痰細胞診	1,820	2	(0.1)	1	(0.05)

8］発見がん内訳（喀痰細胞診＋胸部X線又は胸部CT）

年齢・性別	前年度受診	組織分類	臨床病期分類	治療分類
70代・男性	有	小細胞癌	ⅡB	手術、化学療法、放射線療法

9] 発見がん内訳（胸部CT検診以外）

(1) 組織分類別発見数

	男	女	総数
腺癌	24	17	41
扁平上皮癌	10	1	11
小細胞癌	5	0	5
大細胞癌	0	1	1
その他	2	0	2
不明	5	2	7
総数	46	21	67

(2) 臨床病期分類別発見数

	男	女	総数
0期	0	0	0
ⅠA期	0	0	0
ⅠA1期	3	6	9
ⅠA2期	7	2	9
ⅠA3期	3	2	5
ⅠB期	8	4	12
ⅡA期	0	3	3
ⅡB期	9	0	9
ⅢA期	5	1	6
ⅢB期	1	0	1
ⅢC期	0	0	0
Ⅳ期	0	0	0
ⅣA期	5	1	6
ⅣB期	3	0	3
不明	2	2	4
総数	46	21	67

(3) 治療分類別発見数

	男	女	総数
胸腔鏡下手術	24	15	39
手術	1	1	2
ロボット支援下手術	1	1	2
胸腔鏡下手術・化学療法	3	1	4
手術・化学療法・放射線療法	1	0	1
化学療法	6	1	7
放射線療法	3	0	3
化学療法・放射線療法	1	0	1
治療拒否	2	0	2
不明	4	2	6
総数	46	21	67

4 初回、非初回別　追跡調査結果（胸部CT検診以外）

令和5年度地域保健・健康増進事業報告より

初　回：前年度受診していない者

非初回：前年度も検診を受診している者

（肺癌取扱い規約では、前回未受診・前回受診）

1] 初回、非初回別 発見率及び0～Ⅰ期率

		受診者数	要精検者数	精検受診者数（%）	発見数（%）	発見がん内訳 0～I期（%）	発見がん内訳 0～I期外（%）	発見がん内訳 不明（%）
初回	男	8,746	411	319 (77.6)	13 (0.15)	6 (46.2)	6 (46.2)	1 (7.7)
	女	13,090	359	334 (93.0)	6 (0.05)	5 (83.3)	1 (16.7)	0 (0.0)
	計	21,836	770	653 (84.8)	19 (0.09)	11 (57.9)	7 (36.8)	1 (5.3)
非初回	男	23,088	562	482 (85.8)	33 (0.14)	15 (45.5)	17 (51.5)	1 (3.0)
	女	32,692	539	504 (93.5)	15 (0.05)	9 (60.0)	4 (26.7)	2 (13.3)
	計	55,780	1,101	986 (89.6)	48 (0.09)	24 (50.0)	21 (43.8)	3 (6.3)
総数		77,616	1,871	1,639 (87.6)	67 (0.09)	35 (52.2)	28 (41.8)	4 (6.0)

2] 初回、非初回別 臨床病期分類別発見数

	初回	非初回
0期	0	0
ⅠA期	0	0
ⅠA1期	3	6
ⅠA2期	5	4
ⅠA3期	1	4
ⅠB期	2	10
ⅡA期	1	2
ⅡB期	3	6
ⅢA期	1	5
ⅢB期	0	1
ⅢC期	0	0
Ⅳ期	0	0
ⅣA期	1	5
ⅣB期	1	2
不明	1	3
総数	19	48

5 喫煙及び組織型

1］喫煙指数（本数/日ｘ年数）

喫煙指数	男	女	総数
0 ～	10	19	29
200 ～	4	0	4
400 ～	5	0	5
600 ～	5	0	5
800 ～	8	0	8
1000 ～	6	0	6
1200 ～	7	0	7
1400 ～	1	2	3
総　数	46	21	67

※喫煙歴なし　男7人、女18人

2］喫煙指数及び組織型別発見数

喫煙指数	組　織　型	男	女	総数
600未満	腺　　癌	11	16	27
	扁平上皮癌	2	0	2
	小細胞癌	1	0	1
	大細胞癌	0	1	1
	そ の 他	1	0	1
	不　　明	4	2	6
600以上	腺　　癌	13	1	14
	扁平上皮癌	8	1	9
	大細胞癌	4	0	4
	小細胞癌	0	0	0
	そ の 他	1	0	1
	不　　明	1	0	1
総　数		46	21	67

3］喫煙習慣及び組織型別発見数

喫煙習慣	組　織　型	男	女	総数
吸わない	腺　　癌	4	16	20
	扁平上皮癌	1	0	1
	小細胞癌	0	0	0
	大細胞癌	0	1	1
	そ の 他	0	0	0
	不　　明	2	1	3
止めた	腺　　癌	9	1	10
	扁平上皮癌	4	0	4
	小細胞癌	3	0	3
	大細胞癌	0	0	0
	そ の 他	2	0	2
	不　　明	3	1	4
吸　う	腺　　癌	11	0	11
	扁平上皮癌	5	1	6
	小細胞癌	2	0	2
	大細胞癌	0	0	0
	そ の 他	0	0	0
	不　　明	0	0	0
総　数		46	21	67

6 まとめ

肺癌取扱い規約の肺がん検診の手引きより「肺がん検診における胸部Ｘ線検査の判定基準と指導区分」の中で「肺がん検診における肺癌確診患者数（検診発見肺癌）とは、E1およびE2判定となった要精検者の中から原発性肺癌と確診された患者数を意味する」、また「D判定者の中から肺癌が発見されたとしても、検診発見肺癌とは認めない」との記述があり、これに基づいて追跡調査を行っている。

令和4年度の肺がん検診受診者は77,616人であり、コロナ禍による受診者数減少から徐々に回復傾向ではあるがコロナ禍前の受診者数（令和元年度79,619人）までは達していない。また要精検率は昨年度の1.8％に対し今年度は2.4％、がん発見率は昨年度0.06％に対し今年度0.09％、陽性反応的中度は昨年度3.4％に対し今年度3.6％と昨年度と比較し上昇した。また、いずれもがん検診事業評価指標の許容値を満たしていた。

初回受診者と非初回受診者の比較では、がん発見率は初回受診者、非初回受診者どちらとも0.09％であった。Ⅰ期肺がん割合は初回受診者では57.9％だったが、非初回受診者では50.0％で、初回受診者の方がⅠ期肺がんの割合が高かった。

当事業団では令和4年10月より胸部AI読影支援システムが稼働しており、半年間はAIによる読影補助を追加した運用で判定を行っている。今後は胸部AIシステムが結果に対しどのように寄与したのか検証し精度向上につなげていきたい。

肺がん検診の精検受診率については、胸部X線検診（喀痰細胞診併用を含む）では、前年度の85.9％に対し今年度は87.6％だった。当施設における肺がん検診の成績と、今後は更なる精度管理の向上をはかるために、精検受診率の目標値である90％以上を目指して各関係機関と連携していきたい。（付表1）

付表1　がん検診事業評価指標値との比較（対象は胸部CT検診を除く肺がん検診とする）

		受診者数	要精検者数（%）	精検受診率（%）	確定がん数	がん発見率（%）	陽性反応適中度（%）
事業団	令和4年度	77,616	1,871　（2.4）	（87.6）	67	（0.09）	（3.6）
事業団	令和3年度	75,151	1,373　（1.8）	（85.9）	46	（0.06）	（3.4）
事業団	令和2年度	60,830	1,358　（2.2）	（89.4）	41	（0.07）	（3.0）
がん検診事業評価指標値	許容値		3.0以下	70.0以上		0.03以上	1.3以上
	目標値			90.0以上			

付表2　最終読影判定Dの発見肺がん

検査法	年代・性別	前年度受診	組織分類	臨床病期分類	治療分類
胸部X線のみ	70代・女性	有	腺癌	ⅢA	胸腔鏡下手術
胸部X線のみ	90代・女性	有	不明	ⅣA	不明

付表3　胸部検診（肺がん検診・結核検診）における至急精検結果

1］至急対象内訳

	男	女	総数
肺がん疑い	46	26	72
結核疑い	1	3	4
その他疑い	11	12	23
総数	58	41	99

2］精検結果内訳（肺がん疑い）

	男	女	総数
原発性肺がん	4	2	6
肺がん疑い	18	8	26
転移性肺腫瘍	2	0	2
悪性腫瘍以外の肺腫瘍	0	1	1
肺結核治癒	0	1	1
その他の呼吸器疾患	18	13	31
循環器疾患	2	0	2
その他の異常	1	0	1
異常なし	1	0	1
不明	0	1	1
総数	46	26	72

3］精検結果内訳（結核疑い）

	男	女	総数
その他の呼吸器疾患	1	2	3
異常なし	0	1	1
総数	1	3	4

4］精検結果内訳（その他疑い）

	男	女	総数
肺がん疑い	0	2	2
活動性肺結核（疑）	1	0	1
その他の呼吸器疾患	9	8	17
循環器疾患	1	1	2
異常なし	0	1	1
総数	11	12	23

大腸がん検診

1 検診実施状況

	受診者数	要精検者数	(%)
男	30,284	1,830	(6.0)
女	45,230	1,728	(3.8)
総数	75,514	3,558	(4.7)

2 精検結果内訳（発見がん追跡調査前の精検結果）

	精検受診															精検未把握	精検未受診	総数
	早期がん	進行がん	がん疑い	腺腫(10mm以上)	腺腫(10mm未満)	ポリープ(10mm以上)	ポリープ(10mm未満)	ポリポーシス(一つでも10mm以上)	ポリポーシス(全て10mm未満)	クローン病	潰瘍性大腸炎	憩室	痔疾患	その他の疾患	異常認めず			
男	37	30	14	126	318	46	238	4	3	0	5	84	65	29	146	434	251	1,830
女	19	19	6	79	254	42	209	0	2	0	6	128	111	34	300	306	213	1,728
総数	56	49	20	205	572	88	447	4	5	0	11	212	176	63	446	740	464	3,558

※令和5年度より、精密検査結果連絡票の「検査結果」が変更になり、腺腫、ポリープ、ポリポーシスについて、10mm以上、10mm未満に区分された。

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追跡調査対象者数(a)	調査除外内訳 詳細把握(b)	調査除外内訳 がん以外(c)	調査除外内訳 その他(d)	調査数(a-(b+c+d))	回収数(%)
男	94	0	0	2	92	91 (98.9)
女	47	0	0	0	47	47 (100.0)
総数	141	0	0	2	139	138 (99.3)

※精検未把握（精検検査項目が空欄）、精検未受診（不適切な精検）の者のうちがん又はがん疑いの16名を含む。

2] 調査結果内訳

	発見がん 早期(%)	発見がん 進行(%)	発見がん 不明(%)	腺腫(10㎜以上)(%)	腺腫(10㎜未満)(%)	ポリープ(10㎜以上)(%)	その他の疾患(%)	異常なし(%)	未確定(%)	追跡不能(%)
男	48(52.2)	32(34.8)	0(0.0)	4(4.3)	2(2.2)	3(3.3)	0(0.0)	0(0.0)	2(2.2)	1(1.1)
女	23(48.9)	19(40.4)	1(2.1)	1(2.1)	1(2.1)	0(0.0)	1(2.1)	0(0.0)	1(2.1)	0(0.0)
総数	71(51.1)	51(36.7)	1(0.7)	5(3.6)	3(2.2)	3(2.2)	1(0.7)	0(0.0)	3(2.2)	1(0.7)

3] 発見がん内訳

		受診者数	要精検者数	(%)	精検受診数	(%)	発見がん数	(%)
男	39歳以下	246	9	(3.7)	3	(33.3)	0	(0.00)
	40～44歳	1,141	35	(3.1)	22	(62.9)	0	(0.00)
	45～49歳	1,471	55	(3.7)	34	(61.8)	1	(0.07)
	50～54歳	1,521	49	(3.2)	22	(44.9)	2	(0.13)
	55～59歳	1,452	65	(4.5)	37	(56.9)	4	(0.28)
	60～64歳	2,525	123	(4.9)	74	(60.2)	6	(0.24)
	65～69歳	5,583	326	(5.8)	206	(63.2)	9	(0.16)
	70～74歳	7,967	480	(6.0)	301	(62.7)	25	(0.31)
	75～79歳	4,966	368	(7.4)	291	(79.1)	20	(0.40)
	80歳以上	3,412	320	(9.4)	166	(51.9)	13	(0.38)
	計	30,284	1,830	(6.0)	1,156	(63.2)	80	(0.26)
女	39歳以下	519	28	(5.4)	11	(39.3)	0	(0.00)
	40～44歳	2,880	92	(3.2)	53	(57.6)	0	(0.00)
	45～49歳	3,333	86	(2.6)	54	(62.8)	1	(0.03)
	50～54歳	3,444	98	(2.8)	67	(68.4)	2	(0.06)
	55～59歳	3,609	113	(3.1)	83	(73.5)	1	(0.03)
	60～64歳	5,232	173	(3.3)	128	(74.0)	8	(0.15)
	65～69歳	8,231	257	(3.1)	184	(71.6)	9	(0.11)
	70～74歳	9,805	405	(4.1)	295	(72.8)	10	(0.10)
	75～79歳	5,240	235	(4.5)	227	(96.6)	9	(0.17)
	80歳以上	2,937	241	(8.2)	110	(45.6)	3	(0.10)
	計	45,230	1,728	(3.8)	1,212	(70.1)	43	(0.10)
総数		75,514	3,558	(4.7)	2,368	(66.6)	123	(0.16)

4] 占居部位別発見数

	男	女	総数
盲腸	6	3	9
上行結腸	13	12	25
横行結腸	8	1	9
下行結腸	2	0	2
S状結腸	26	13	39
直腸S状部	6	5	11
直腸	19	8	27
不明	0	1	1
総数	80	43	123

5] 組織分類別発見数

		男	女	総数
乳頭腺癌		5	1	6
管状腺癌	高分化	42	17	59
	中分化	25	18	43
	低分化	1	2	3
粘液癌		3	2	5
不明		4	3	7
総数		80	43	123

6] 組織学的深達度別発見数

	男	女	総数
Tis(M)	28	15	43
T1a(SM)	5	0	5
T1b(SM)	15	8	23
T2(MP)	14	7	21
T3(SS)	12	8	20
T4a(SE)	5	3	8
T4b(SI)	1	1	2
不明	0	1	1
総数	80	43	123

7] 治療方法別発見数

	早期	進行	不明	総数
ポリペクトミー	8	0	0	8
内視鏡的粘膜切除	39	0	0	39
腹腔鏡下手術	22	43	0	65
外科手術	1	5	0	6
その他	1	3	1	5
総数	71	51	1	123

8] Stage分類別発見数

	男	女	総数
0	28	15	43
Ⅰ	22	14	36
Ⅱ a	7	2	9
Ⅱ b	2	1	3
Ⅱ c	1	0	1
Ⅲ a	9	0	9
Ⅲ b	4	6	10
Ⅲ c	1	0	1
Ⅳ	3	4	7
不明	3	1	4
総数	80	43	123

9] Dukes分類別発見数

	男	女	総数
A	50	29	79
B	10	3	13
C	14	6	20
D	3	4	7
不明	3	1	4
総数	80	43	123

10] 初回・非初回別早期割合

		受診者数	要精検者数	精検受診者数(%)	発見数(%)	発見がん内訳 早期(%)	進行(%)	不明(%)
初回	男	5,191	368	214 (58.2)	26 (0.50)	14 (53.8)	12 (46.2)	0 (0.0)
	女	7,528	334	222 (66.5)	18 (0.24)	10 (55.6)	7 (38.9)	1 (5.6)
	計	12,719	702	436 (62.1)	44 (0.35)	24 (54.5)	19 (43.2)	1 (2.3)
非初回	男	25,093	1,462	942 (64.4)	54 (0.22)	34 (63.0)	20 (37.0)	0 (0.0)
	女	37,702	1,394	990 (71.0)	25 (0.07)	13 (52.0)	12 (48.0)	0 (0.0)
	計	62,795	2,856	1,932 (67.6)	79 (0.13)	47 (59.5)	32 (40.5)	0 (0.0)
総数		75,514	3,558	2,368 (66.6)	123 (0.16)	71 (57.7)	51 (41.5)	1 (0.8)

※ 令和5年度地域保健・健康増進事業報告より、
初　回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も大腸がん検診を受診していない者
非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上大腸がん検診を受診している者

4 まとめ

令和4年度の発見大腸がん追跡調査の結果、男性80人、女性43人のがんが発見された。がん発見率は男性0.26%、女性0.10%であり、男性のがん発見率が有意に高かった($p<0.05$)。また、男性では75～79歳と80歳以上、女性では60～64歳と75～79歳のがん発見率が高い傾向を示した。令和4年度の集計から、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」による精密検査受診とされる検査方法が、全大腸内視鏡検査又は注腸エックス線検査及びS状結腸内視鏡検査を行った場合に変更となった。そのため、精検未受診者が増加し、例年より低い精検受診率（66.6%）となった。

発見大腸がんの占居部位はS状結腸が最も多く39人、次いで直腸27人、上行結腸25人であった。例年では直腸に癌が多く発見されているが、今回はS状結腸に癌が最も多く発見される結果となった。

組織型は管状腺癌が最も多く、高分化型59人、中分化型43人を合わせると102人（83.0%）を占めていた。また、粘液癌が5人発見された。

発見大腸がんの深達度は、癌が粘膜内にとどまるTis(M)が43人と最も多かった。早期がん（Tis(M)、T1a,T1b(SM)）割合は、123人中71人（57.8%）であり、例年同様に約6割を占めていた。

発見大腸がんの治療は、早期がんでは内視鏡下で行われるポリペクトミー、ESDを含む内視鏡的切除が123人中47人（38.2%）に実施された。腹腔鏡下手術は123人中65人（52.8%）に実施されており、進行がんでも51人中43人(84.3%)と、術式の中で最も多く用いられていた。

大腸がん検診の受診歴別によるがん発見率は、初回受診者(0.35%)、非初回受診者(0.13%)であり、初回受診者のがん発見率が有意に高かった($p<0.05$)。また、発見大腸がんの早期がん

割合は、初回受診者（54.5%）、非初回受診者（59.5%）であり、非初回受診者の早期がん割合が高い傾向を示した。

大腸がん検診で発見されるがんは早期がんが多く、内視鏡下での切除にて治療が済む割合が高い。また、非初回受診者で発見される大腸がんは初回受診者と比較して早期がんの割合が高いことから、継続的に検診を受診する必要性と適切な精検受診の重要性を併せた受診勧奨が、より多くの大腸がんの早期発見・早期治療に繋がるものと考える。

「がん検診事業の評価に関する委員会」で示されたプロセス指標の許容値との比較を下記に示す。精検受診率においては適切な精検受診とする検査方法が変更となったため、精検未受診者が増加し許容値より低い値となっているが、要精検率、がん発見率、陽性反応適中度においては許容値を満たしていた。

付表　がん検診事業評価指標値との比較

	受診者数	要精検者数（%）		精検受診率（%）	発見がん数（%）		陽性反応適中度（%）
事業団 令和4年度	75,514	3,558	（4.7）	（66.6）	123	（0.16）	（3.5）
事業団 令和3年度	73,438	3,507	（4.8）	（70.9）	106	（0.14）	（3.0）
事業団 令和2年度	59,362	3,182	（5.4）	（72.7）	85	（0.14）	（2.7）
がん検診事業評価指標	許容値		7.0%以下	70.0%以上		0.13%以上	1.9%以上
	目標値			90.0%以上			

子宮頸がん検診

1 検診実施状況

1］検査方式別実施状況

	受診者数	要精検者数	(%)
細胞診のみ	1,380	43	(3.1)
ASC-US時HPV追加	26,831	516	(1.9)
HPV併用	9,021	571	(6.3)
総数	37,232	1,130	(3.0)

2］市町別実施方式

細胞診のみ	宇都宮市
ASC-US時HPV追加	栃木市・鹿沼市・真岡市・矢板市・益子町・塩谷町・那珂川町 芳賀町の医療機関方式 足利市の30歳・35歳・40歳の希望者以外 那須烏山市の31歳・36歳・41歳以外 茂木町の30歳未満 那須塩原市の30歳から59歳以外 大田原市の25歳から45歳以外
HPV併用	小山市・野木町・下野市 芳賀町の検診車方式 足利市の30歳・35歳・40歳の希望者 那須烏山市の31歳・36歳・41歳 茂木町の30歳以上 那須塩原市の30歳から59歳 大田原市の25歳から45歳

【細胞診のみ】

1 検診実施状況

1］実施状況

	受診者数	要精検者数	(%)
総数	1,380	43	(3.1)

2］細胞診結果の内訳

	受診者数	ベセスダシステム判定結果内訳									
		適正標本									不適正標本
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma	
19歳以下	0	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
20～24歳	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25～29歳	4	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0
30～34歳	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35～39歳	19	18	0	0	0	0	0	1	0	0	0
40～44歳	99	94	1	0	3	1	0	0	0	0	0
45～49歳	115	102	7	2	3	1	0	0	0	0	0
50～54歳	111	108	0	0	3	0	0	0	0	0	0
55～59歳	124	120	2	0	2	0	0	0	0	0	0
60～64歳	169	164	3	0	1	1	0	0	0	0	0
65～69歳	280	276	0	0	2	2	0	0	0	0	0
70～74歳	295	290	3	2	0	0	0	0	0	0	0
75～79歳	121	121	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80歳以上	31	29	0	1	0	1	0	0	0	0	0
総数	1,380	1,337	16	5	14	7	0	1	0	0	0

2 精検結果内訳

	精検受診										結果未把握	精検未受診	総数
	上皮内がん*	上皮内腺がん*	扁平上皮がん*	腺がん*	その他のがん	高度異形成*	中等度異形成	軽度異形成	その他の疾患	異常を認めず			
総数	1	0	1	0	1	2	5	5	2	15	9	2	43

*追跡対象者

3 発見がん追跡調査結果

1］調査状況

	追跡調査対象者数(a)	調査除外内訳 詳細把握(b)	がん以外(C)	その他(d)	調査数(a-(b+c+d))	回収数(%)
総数	4	0	0	0	4	3 (75.0)

2］調査結果内訳

	発見がん ＩB期以上(%)	ＩA期(%)	AIS(%)	CIN3(%)	CIN2(%)	CIN1(%)	異常なし(%)	追跡不能(%)
総数	0(0.0)	0(0.0)	0 (0.0)	2(50.0)	1(25.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(25.0)

3］細胞診結果別発見がん数

細胞診結果(ベセスダシステム)	標本の適否 適正	不適正	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma
	1,380	0	1,337	16	5	14	7	0	1	0	0
要精検者数	43	−	−	16	5	14	7	−	1	−	−
精検受診者数	32	−	−	13	4	9	5	−	1	−	−
発見CIN3+AIS数	2	−	0	0	0	0	2	−	0	−	−
発見がん数	0	−	0	0	0	0	0	−	0	−	−

4］発見がん内訳

	受診者数	要精検者数(%)		精検受診者数(%)		発見CIN3+AIS数(%)		発見がん数(%)	
19歳以下	0	−	(−)	−	(−)	−	(−)	−	(−)
20 ～ 24歳	7	0	(0.0)	−	(−)	0	(0.00)	0	(0.00)
25 ～ 29歳	4	1	(25.0)	1	(100.0)	1	(25.00)	0	(0.00)
30 ～ 34歳	5	0	(0.0)	−	(−)	0	(0.00)	0	(0.00)
35 ～ 39歳	19	1	(5.3)	1	(100.0)	0	(0.00)	0	(0.00)
40 ～ 44歳	99	5	(5.1)	4	(80.0)	0	(0.00)	0	(0.00)
45 ～ 49歳	115	13	(11.3)	10	(76.9)	0	(0.00)	0	(0.00)
50 ～ 54歳	111	3	(2.7)	2	(66.7)	0	(0.00)	0	(0.00)
55 ～ 59歳	124	4	(3.2)	4	(100.0)	0	(0.00)	0	(0.00)
60 ～ 64歳	169	5	(3.0)	3	(60.0)	0	(0.00)	0	(0.00)
65 ～ 69歳	280	4	(1.4)	1	(25.0)	0	(0.00)	0	(0.00)
70 ～ 74歳	295	5	(1.7)	5	(100.0)	0	(0.00)	0	(0.00)
75 ～ 79歳	121	0	(0.0)	−	(−)	0	(0.00)	0	(0.00)
80歳以上	31	2	(6.5)	1	(50.0)	1	(3.23)	0	(0.00)
総数	1,380	43	(3.1)	32	(74.4)	2	(0.14)	0	(0.00)

※子宮頸がんの発見がん以外に35 ～ 39歳で子宮体癌が1人発見された

5］初回、非初回別実施状況

※令和5年度地域保健・健康増進事業報告より、

初　回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も子宮頸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上子宮頸がん検診を受診している者

⑴ 初回・非初回別発見数

	受診者数	要精検者数（%）	精検受診者数（%）	発見CIN3+AIS数（%）	発見がん数（%）
初　回	604	27　(4.5)	20　(74.1)	2　(0.33)	0　(0.00)
非初回	776	16　(2.1)	12　(75.0)	0　(0.00)	0　(0.00)
総　数	1,380	43　(3.1)	32　(74.4)	2　(0.14)	0　(0.00)

⑵ 年齢別発見数

	受診者数	要精検者数（%）	精検受診者数（%）	発見CIN3+AIS数（%）	発見がん数（%）
39歳以下	35	2　(5.7)	2（100.0）	1（2.86）	0　(0.00)
40歳以上	1,345	41　(3.0)	30　(73.2)	1（0.07）	0　(0.00)
総　数	1,380	43　(3.1)	32　(74.4)	2（0.14）	0　(0.00)

6］CIN3、AISの治療分類別発見数

CIN3 2人のうち1人が経過観察、1人が不明

【ASC-US時HPV追加】

1 検診実施状況

1］実施状況

	受診者数	要精検者数（%）
総　数	26,831	516　(1.9)

2]細胞診結果の内訳

	受診者数	ベセスダシステム判定結果内訳									
		適正標本									不適正標本
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma	
19歳以下	11	10	0	0	1	0	0	0	0	0	0
20～24歳	526	470	11	2	39	3	0	1	0	0	0
25～29歳	664	606	13	1	35	6	0	3	0	0	0
30～34歳	1,096	1,031	20	3	32	4	0	6	0	0	0
35～39歳	1,572	1,499	30	3	27	7	0	6	0	0	0
40～44歳	1,938	1,853	31	6	30	6	0	12	0	0	0
45～49歳	2,572	2,448	52	6	47	2	0	17	0	0	0
50～54歳	2,394	2,318	42	2	21	3	0	8	0	0	0
55～59歳	2,232	2,186	23	4	10	5	0	4	0	0	0
60～64歳	3,050	3,005	19	5	13	7	0	0	0	0	1
65～69歳	3,951	3,900	20	5	15	8	1	1	0	0	1
70～74歳	4,160	4,102	26	4	20	7	0	1	0	0	0
75～79歳	1,907	1,882	11	3	3	7	0	1	0	0	0
80歳以上	758	745	6	0	4	1	0	2	0	0	0
総　数	26,831	26,055	304	44	297	66	1	62	0	0	2

3］ASC-USと判定された受診者のHPV-DNA検査結果の内訳

	受診者数	HPV(－)	HPV(＋)（%）	
19歳以下	0	－	－	(－)
20 ～ 24歳	11	9	2	(18.2)
25 ～ 29歳	13	7	6	(46.2)
30 ～ 34歳	20	15	5	(25.0)
35 ～ 39歳	30	24	6	(20.0)
40 ～ 44歳	31	29	2	(6.5)
45 ～ 49歳	52	48	4	(7.7)
50 ～ 54歳	42	37	5	(11.9)
55 ～ 59歳	23	22	1	(4.3)
60 ～ 64歳	19	17	2	(10.5)
65 ～ 69歳	20	15	5	(25.0)
70 ～ 74歳	26	21	5	(19.2)
75 ～ 79歳	11	9	2	(18.2)
80歳以上	6	5	1	(16.7)
総　数	304	258	46	(15.1)

2 精検結果内訳

	精検受診										結果未把握	精検未受診	総数
	上皮内がん*	上皮内腺がん*	扁平上皮がん*	腺がん*	その他のがん	高度異形成*	中等度異形成	軽度異形成	その他の疾患**	異常を認めず			
総数	0	0	1	1	2	22	37	196	14	147	61	35	516

* 追跡対象者

** その他の疾患から6人追跡調査の対象者とした

3 発見がん追跡調査結果

1］調査状況

	追跡調査対象者数(a)	調査除外内訳 詳細把握(b)	がん以外(C)	その他(d)	調査数(a-(b+c+d))	回収数(%)
総数	30	0	0	0	30	30 (100.0)

2］調査結果内訳

	発見がん ＩB期以上(%)	ＩA期(%)	AIS(%)	CIN3(%)	CIN2(%)	CIN1(%)	その他の疾患(%)	異常なし(%)	未確定(%)
総数	1 (3.3)	3 (10.0)	0 (0.0)	14 (46.7)	2 (6.7)	3 (10.0)	1 (3.3)	4 (13.3)	2 (6.7)

3］細胞診結果別発見がん数

細胞診結果(ベセスダシステム)	標本の適否 適正	不適正	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma
	26,829	2	26,055	304	44	297	66	1	62	0	0
精検不要者数	258	－	－	258*	－	－	－	－	－	－	－
要精検者数	516	－	－	46	44	297	66	1	62	－	－
精検受診者数	420	－	－	38	41	235	51	1	54	－	－
発見CIN3+AIS数	14	0	0	0	3	2	9	0	0	－	－
発見がん数	4	0	0	0	0	0	1	1	2	－	－

*細胞診(ASC-US)・HPV(－)は精検不要

4］発見がん内訳

	受診者数	要精検者数	(%)	精検受診者数	(%)	発見CIN3+AIS数	(%)	発見がん数	(%)
19歳以下	11	1	(9.1)	1	(100.0)	0	(0.00)	0	(0.00)
20 ～ 24歳	526	47	(8.9)	33	(70.2)	1	(0.19)	0	(0.00)
25 ～ 29歳	664	51	(7.7)	43	(84.3)	1	(0.15)	0	(0.00)
30 ～ 34歳	1,096	50	(4.6)	39	(78.0)	1	(0.09)	0	(0.00)
35 ～ 39歳	1,572	49	(3.1)	45	(91.8)	2	(0.13)	1	(0.06)
40 ～ 44歳	1,938	56	(2.9)	49	(87.5)	2	(0.10)	1	(0.05)
45 ～ 49歳	2,572	76	(3.0)	64	(84.2)	0	(0.00)	0	(0.00)
50 ～ 54歳	2,394	39	(1.6)	34	(87.2)	0	(0.00)	0	(0.00)
55 ～ 59歳	2,232	24	(1.1)	21	(87.5)	2	(0.09)	1	(0.04)
60 ～ 64歳	3,050	27	(0.9)	22	(81.5)	2	(0.07)	0	(0.00)
65 ～ 69歳	3,951	35	(0.9)	25	(71.4)	0	(0.00)	1	(0.03)
70 ～ 74歳	4,160	37	(0.9)	29	(78.4)	1	(0.02)	0	(0.00)
75 ～ 79歳	1,907	16	(0.8)	10	(62.5)	2	(0.10)	0	(0.00)
80歳以上	758	8	(1.1)	5	(62.5)	0	(0.00)	0	(0.00)
総　数	26,831	516	(1.9)	420	(81.4)	14	(0.05)	4	(0.01)

※子宮頸がん以外に、子宮体癌が2人（55 ～ 59歳1人、65 ～ 69歳1人）、異型内膜増殖症が1人（45 ～ 49歳）発見された

5］初回、非初回別実施状況

※令和5年度地域保健・健康増進事業報告より、

初　回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も子宮頸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上子宮頸がん検診を受診している者

⑴ 初回・非初回別発見数

	受診者数	要精検者数	(%)	精検受診者数	(%)	発見CIN3+AIS数	(%)	発見がん数	(%)	発見がん内訳 ⅠA期	(%)	ⅠB期以上	(%)
初　回	6,107	223	(3.7)	178	(79.8)	9	(0.15)	4	(0.07)	3	(75.0)	1	(25.0)
非初回	20,724	293	(1.4)	242	(82.6)	5	(0.02)	0	(0.00)	0	(0.0)	0	(0.0)
総　数	26,831	516	(1.9)	420	(81.4)	14	(0.05)	4	(0.01)	3	(75.0)	1	(25.0)

⑵ 年齢別発見数

	受診者数	要精検者数	(%)	精検受診者数	(%)	発見CIN3+AIS数	(%)	発見がん数	(%)	発見がん内訳 ⅠA期	(%)	ⅠB期以上	(%)
39歳以下	3,869	198	(5.1)	161	(81.3)	5	(0.13)	1	(0.03)	1	(100.0)	0	(0.0)
40歳以上	22,962	318	(1.4)	259	(81.4)	9	(0.04)	3	(0.01)	2	(66.7)	1	(33.3)
総　数	26,831	516	(1.9)	420	(81.4)	14	(0.05)	4	(0.01)	3	(75.0)	1	(25.0)

6］発見がんの詳細及びCIN3、AISの詳細

⑴ 臨床進行期別発見数

臨床進行期		発見数
ⅠA期及びCIN3、AIS	CIN3	14
	AIS	0
	ⅠA1期	2
	ⅠA2期	1
ⅠB期以上	ⅡB期	1
総数		18

⑵ TNM分類別発見数

TNM分類	CIN3	AIS	ⅠA期	ⅠB期以上
Tis・N0・M0	1	0	0	0
Tis・N不明・M不明	1	0	0	0
T1a1・NX・M0	0	0	1	0
T1a1・N0・M0	0	0	1	0
T1a2・N0・M0	0	0	1	0
T2b・N0・M0	0	0	0	1
T不明・N不明・M不明	12	0	0	0
総　数	14	0	3	1

⑶ 組織分類別発見数

	ＩA期・ＩB期以外	ＩA期	ＩB期以上
ＣＩＮ３	14	－	－
ＡＩＳ	0	－	－
扁平上皮癌	0	0	1
腺癌	0	2	0
不明	0	1	0
総数	14	3	1

⑷ 治療分類別発見数

1）手術療法

術式	CIN3	AIS	ＩA期	ＩB期以上
子宮頸部円錐切除術	8	0	0	0
単純子宮全摘出術	5	0	1	0
広汎子宮全摘出術	0	0	1	0
拡大子宮全摘出術	0	0	1	0
不明	1	0	0	0
総数	14	0	3	0

2）化学療法および放射線療法

ＩＩＢ期で化学療法と放射線療法を１人施行

【 HPV併用 】

1 検診実施状況

1］実施状況

	受診者数	要精検者数（%）
総　数	9,021	571 （6.3）

2］細胞診結果の内訳

	受診者数	ベセスダシステム判定結果内訳									
		適正標本									不適正標本
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma	
19歳以下	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24歳	228	193	10	0	21	3	0	1	0	0	0
25～29歳	486	422	21	1	34	6	0	2	0	0	0
30～34歳	838	744	37	5	32	12	0	8	0	0	0
35～39歳	1,140	1,025	57	4	30	18	0	6	0	0	0
40～44歳	1,142	1,033	53	2	31	15	0	8	0	0	0
45～49歳	970	882	41	5	25	8	0	9	0	0	0
50～54歳	843	798	24	4	8	7	0	2	0	0	0
55～59歳	741	710	13	5	8	5	0	0	0	0	0
60～64歳	673	657	5	1	5	5	0	0	0	0	0
65～69歳	788	771	12	1	0	3	0	0	0	0	1
70～74歳	681	667	7	0	4	3	0	0	0	0	0
75～79歳	354	343	7	0	1	3	0	0	0	0	0
80歳以上	133	131	0	1	1	0	0	0	0	0	0
総数	9,021	8,380	287	29	200	88	0	36	0	0	1

3］HPV-DNA検査結果の内訳

	受診者数	HPV(－)	HPV(＋)(%)
19歳以下	4	3	1 (25.0)
20～24歳	228	189	39 (17.1)
25～29歳	486	402	82 (16.9)
30～34歳	838	732	104 (12.4)
35～39歳	1,140	1,014	123 (10.8)
40～44歳	1,142	1,052	86 (7.5)
45～49歳	970	912	57 (5.9)
50～54歳	843	818	25 (3.0)
55～59歳	741	706	35 (4.7)
60～64歳	673	648	25 (3.7)
65～69歳	788	762	25 (3.2)
70～74歳	681	651	30 (4.4)
75～79歳	354	330	24 (6.8)
80歳以上	133	125	8 (6.0)
総数	9,021	8,344	664 (7.4)

※受診者数はHPV検査判定不能1人、不同意3人、希望なし9人を含む

2 精検結果内訳

	精検受診										結果未把握	精検未受診	総数
	上皮内がん*	上皮内腺がん*	扁平上皮がん*	腺がん*	その他のがん	高度異形成*	中等度異形成	軽度異形成	その他の疾患**	異常を認めず			
総数	5	0	0	2	1	15	48	242	25	172	48	13	571

* 追跡対象者

** その他の疾患から6人追跡調査の対象者とした

3 発見がん追跡調査結果

1］調査状況

	追跡調査対象者数(a)	調査除外内訳			調査数(a-(b+c+d))	回収数(%)
		詳細把握(b)	がん以外(C)	その他(d)		
総数	28	0	0	0	28	28 (100.0)

2］調査結果内訳

	発見がん		AIS(%)	CIN3(%)	CIN2(%)	その他の疾患(%)	異常なし(%)	未確定(%)
	ＩB期以上(%)	ＩA期(%)						
総数	6 (21.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	13 (46.4)	2 (7.1)	2 (7.1)	4 (14.3)	1 (3.6)

3］細胞診結果別HPV結果及び発見がん数

細胞診結果(ベセスダシステム)		標本の適否		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma
		適正	不適正									
		9,020	1	8,380	287	29	200	88	0	36	0	0
検査	(－)	8,344	－	8,099	143	15	50	16	－	21	－	－
	(＋)	664	－	269	144	14	150	72	－	15	－	－
	未実施	12	－	12	0	0	0	0	－	0	－	－
精検不要者数		338	－	195	143	－	－	－	－	－	－	－
要精検者数		571	－	74*	144	29	200	88	－	36	－	－
精検受診者数		510	－	66	130	28	175	76	－	35	－	－
発見CIN3+AIS数		13	0	0	0	3	1	9	－	0	－	－
発見がん数		6	0	0	0	1	1	3	－	1	－	－

*2年連続で細胞診（NILM）・HPV(+)は要精検

4］発見がん内訳

	受診者数	要精検者数	(%)	精検受診者数	(%)	発見CIN3+AIS数	(%)	発見がん数	(%)
19歳以下	4	0	(0.0)	−	(−)	0	(0.00)	0	(0.00)
20 ～ 24歳	228	35	(15.4)	27	(77.1)	1	(0.44)	0	(0.00)
25 ～ 29歳	486	61	(12.6)	57	(93.4)	0	(0.00)	0	(0.00)
30 ～ 34歳	838	86	(10.3)	77	(89.5)	2	(0.24)	0	(0.00)
35 ～ 39歳	1,140	108	(9.5)	98	(90.7)	3	(0.26)	2	(0.18)
40 ～ 44歳	1,142	80	(7.0)	73	(91.3)	2	(0.18)	1	(0.09)
45 ～ 49歳	970	67	(6.9)	59	(88.1)	2	(0.21)	1	(0.10)
50 ～ 54歳	843	27	(3.2)	24	(88.9)	0	(0.00)	0	(0.00)
55 ～ 59歳	741	25	(3.4)	23	(92.0)	1	(0.13)	2	(0.27)
60 ～ 64歳	673	21	(3.1)	18	(85.7)	1	(0.15)	0	(0.00)
65 ～ 69歳	788	18	(2.3)	16	(88.9)	0	(0.00)	0	(0.00)
70 ～ 74歳	681	19	(2.8)	18	(94.7)	0	(0.00)	0	(0.00)
75 ～ 79歳	354	20	(5.6)	17	(85.0)	0	(0.00)	0	(0.00)
80歳以上	133	4	(3.0)	3	(75.0)	1	(0.75)	0	(0.00)
総　数	9,021	571	(6.3)	510	(89.3)	13	(0.14)	6	(0.07)

5］初回、非初回別実施状況

※令和5年度地域保健・健康増進事業報告より、

初　回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も子宮頸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上子宮頸がん検診を受診している者

⑴ 初回、非初回別発見数

	受診者数	要精検者数	(%)	精検受診者数	(%)	発見CIN3+AIS数	(%)	発見がん数	(%)	発見がん内訳 ＩＡ期	(%)	発見がん内訳 ＩＢ期以上	(%)
初　回	5,031	321	(6.4)	285	(88.8)	8	(0.16)	6	(0.12)	0	(0.0)	6	(100.0)
非初回	3,990	250	(6.3)	225	(90.0)	5	(0.13)	0	(0.00)	0	(0.0)	0	(0.0)
総　数	9,021	571	(6.3)	510	(89.3)	13	(0.14)	6	(0.07)	0	(0.0)	6	(100.0)

⑵ 年齢別発見数

	受診者数	要精検者数	(%)	精検受診者数	(%)	発見CIN3+AIS数	(%)	発見がん数	(%)	発見がん内訳 ＩＡ期	(%)	発見がん内訳 ＩＢ期以上	(%)
39歳以下	2,696	290	(10.8)	259	(89.3)	6	(0.22)	2	(0.07)	0	(0.0)	2	(100.0)
40歳以上	6,325	281	(4.4)	251	(89.3)	7	(0.11)	4	(0.06)	0	(0.0)	4	(100.0)
総　数	9,021	571	(6.3)	510	(89.3)	13	(0.14)	6	(0.07)	0	(0.0)	6	(100.0)

6］発見がんの詳細及びCIN3、AISの詳細

⑴ 臨床進行期別発見数

臨床進行期		発見数
ＩＡ期及びCIN3、AIS	ＣＩＮ３	13
	ＡＩＳ	0
	ＩＡ期	0
ＩＢ期以上	ＩＢ1期	5
	ⅢＡ期	1
総数		19

⑵ TNM分類別発見数

TNM分類	CIN3	AIS	ＩＡ期	ＩＢ期以上
Ｔ１ｂ１・ＮＸ・ＭＯ	0	0	0	1
Ｔ１ｂ１・ＮＯ・ＭＯ	0	0	0	4
Ｔ３ａ・Ｎ１・ＭＯ	0	0	0	1
Ｔ不明・Ｎ不明・Ｍ不明	13	0	0	0
総　数	13	0	0	6

⑶ 組織分類別発見数

	ＩＡ期・ＩＢ期以外	ＩＡ期	ＩＢ期以上
ＣＩＮ３	13	−	−
ＡＩＳ	0	−	−
扁平上皮癌	0	0	4
腺癌	0	0	2
総数	13	0	6

⑷ 治療分類別発見数

1）手術療法

術式	CIN3	AIS	ＩＡ期	ＩＢ期以上
子宮頸部円錐切除術	6	0	0	0
単純子宮全摘出術	2	0	0	1
広汎子宮全摘出術	0	0	0	4
経過観察	2	0	0	0
不明	3	0	0	0
総数	13	0	0	5

※CIN3の単純子宮全摘出術2人のうち1人はロボット支援下で施行
※ⅢＡ期の1人は手術療法未実施

2）化学療法および放射線療法

ＩＢ1期1人は単純子宮全摘出術と放射線療法、ＩＢ1期1人は広汎子宮全摘出術と放射線療法、ＩＢ1期1人は広汎子宮全摘出術で化学療法と放射線療法、ⅢＡ期1人は化学療法と放射線療法を施行

子宮頸がん総数の集計表

受診者数	要精検者数（%）	精検受診者数（%）	発見CIN3+AIS数（%）	発見がん数（%）	発見CIN3+AIS数及び発見がん数（%）
37,232	1,130 （3.0）	962 （85.1）	29 （0.08）	10 （0.03）	39 （0.10）

4 まとめ

令和4年度の発見子宮頸がん追跡調査の結果は、治療対象である子宮頸部上皮内腫瘍3（以下CIN3）及び上皮内腺癌（以下AIS）を追加して集計した。発見CIN3+AIS数及び発見がん数の発見率は、細胞診のみの方式で発見CIN3+AIS数2人（0.14%）、発見がん数は0人（0.00%）だった。ASC-US時HPV追加方式は、発見CIN3+AIS数14人（0.05%）、発見がん数4人（0.01%）（ＩＡ期3人、ⅡＢ期1人）だった。HPV併用方式では、発見CIN3+AIS数13人（0.14%）、発見がん数6人（0.07%）（ＩＢ期5人、ⅢＡ期1人）であった。

初回、非初回別実施状況は、細胞診のみの方式でCIN3+AIS発見率は、初回受診0.33%、非初回受診0%で、がん発見率では、初回受診、非初回受診ともに0%であり、ASC-US時HPV追加方式でCIN3+AIS発見率は、初回受診0.15%、非初回受診0.02%で、がん発見率では、初回受診0.07%、非初回受診0%で、HPV併用方式ではCIN3+AIS発見率は、初回受診0.16%、非初回受診0.13%で、がん発見率は初回受診0.12%、非初回受診0%であった。CIN3+AIS発見率は、細胞診のみの方式とHPV併用方式は、初回受診が非初回受診より高い傾向にあり、ASC-US時HPV追加方式は初回受診が非初回受診より有意（$p < 0.05$）に高かった。がん発見率は、ASC-US時HPV追加方式とHPV併用方式ともに、初回受診が非初回受診より有意（$p < 0.05$）に高かった。これらのことから、未受診者の受診啓発の重要性が示唆された。

年齢別実施状況は、細胞診のみの方式ではCIN3+AIS発見率は、39歳以下2.86%、40歳以上0.07%で、がん発見率では、39歳以下40歳以上ともに0%であった。ASC-US時HPV追加方式ではCIN3+AIS発見率は、39歳以下0.13%、40歳以上0.04%で、がん発見率では、39歳

以下0.03％、40歳以上0.01％であった。HPV併用方式では、CIN3+AIS発見率は、39歳以下0.22％、40歳以上0.11％で、がん発見率は39歳以下0.07％、40歳以上0.06％であった。CIN3+AIS発見率は、細胞診のみの方式とHPV併用方式ともに、39歳以下が40歳以上より高い傾向にあり、ASC-US時HPV追加方式では39歳以下が40歳以上より有意（p＜0.05）に高かった。がん発見率は、ASC-US時HPV追加方式、HPV併用方式ともに、39歳以下が40歳以上より高い傾向にあった。これらのことから、若年層の受診啓発の重要性が示唆された。

組織型は、細胞診のみの方式では、前駆病変のCIN3が2人（0.14％）で、ASC-US時HPV追加方式では、前駆病変のCIN3が14人（0.05％）であり、発見されたがん4人のうち、扁平上皮癌が1人（0.004％）、腺癌が2人（0.007％）、不明が1人（0.004％）であった。HPV併用方式では、前駆病変のCIN3が13人（0.14％）であり、発見されたがん6人のうち、扁平上皮癌が4人（0.04％）、腺癌が2人（0.02％）であった。

治療法の手術方式別は、ASC-US時HPV追加方式では、子宮頸部円錐切除術はCIN3 8人（0.03％）、単純子宮全摘出術はCIN3 5人、がん（ＩＡ期）1人と合わせて6人（0.02％）、広汎子宮全摘出術はがん（ＩＡ期）1人（0. 004％）、拡大子宮全摘出術はがん（ＩＡ期）1人（0. 004％）であった。HPV併用方式では子宮頸部円錐切除術はCIN3で6人（0.07％）、単純子宮全摘出術はCIN3で2人、がん（ＩＢ期）1人と合わせて3人（0.03％）、広汎子宮全摘出術はがん（ＩＢ期）で4人（0.04％）であった。近年、出産年齢とがん発見年齢が重なってきていることから、妊孕力を保たせるためにも、前駆病変や早期がんを発見することが大切である。

当施設における子宮頸がん検診の成績と事業評価指標値との比較は、付表の通りである。追跡調査の結果、がん発見率はHPV併用方式で許容値を上回っていたが、細胞診のみの方式とASC-US時HPV追加方式は、許容値を満たしていなかった。要精検率及び陽性反応適中度は、細胞診のみの方式、ASC-US時HPV追加方式、HPV併用方式の3方式ともに、許容値を満たしていなかった。以前はがんに含まれていた上皮内癌、上皮内腺癌が、がん取扱い規約の変更により、がんとして取り扱われなくなったことも一因である。精検受診率は、3方式とも許容値を満たしていたが、目標値は満たしていなかった。ベセスダシステム導入に伴い、ASC-US判定が増えたことにより、要精検率と陽性反応適中度等は許容値を満たしていない値になっているのが現状である。今後は、ベセスダシステムに準拠した新たながん検診事業評価指標値が必要と考える。

付表　がん検診事業評価指標との比較

		受診者数	要精検者数（％）	精検受診率（％）	発見がん数（％）	陽性反応適中度（％）
事業団令和4年度	細胞診のみ	1,380	43 （3.1）	（74.4）	0 （0.00）	（0.0）
	ASC-US時HPV追加	26,831	516 （1.9）	（81.4）	4 （0.01）	（0.8）
	HPV併用	9,021	571 （6.3）	（89.3）	6 （0.07）	（1.1）
事業団令和3年度	細胞診のみ	1,306	42 （3.2）	（73.8）	0 （0.00）	（0.0）
	ASC-US時HPV追加	27,418	555 （2.0）	（83.6）	5 （0.02）	（0.9）
	HPV併用	12,267	523 （4.3）	（88.0）	3 （0.02）	（0.6）
事業団令和2年度	細胞診のみ	1,130	43 （3.8）	（83.7）	1 （0.09）	（2.3）
	ASC-US時HPV追加	22,294	400 （1.8）	（81.3）	5 （0.02）	（1.3）
	HPV併用	5,772	293 （5.1）	（88.4）	2 （0.03）	（0.7）
がん検診事業評価指標	許容値		1.4％以下	70.0％以上	0.05％以上	4.0％以上
	目標値			90.0％以上		

乳がん検診

本調査票では、マンモグラフィをＭＧ、乳房超音波をＵＳと表記する。

1 検診実施状況

1］検診方式別実施状況

	受診者数	要精検者数（%）
ＭＧ＋ＵＳ	43,817	1,873（4.3）
ＵＳ	4,659	159（3.4）
総　　数	48,476	2,032（4.2）

2］年齢別実施状況

	39歳以下（%）		40～49歳（%）		50～59歳（%）		60～69歳（%）		70歳以上（%）	
ＭＧ＋ＵＳ	908	（2.1）	8,740	（19.9）	8,435	（19.3）	12,192	（27.8）	13,542	（30.9）
ＵＳ	4,263	（91.5）	145	（3.1）	61	（1.3）	79	（1.7）	111	（2.4）
総　　数	5,171	（10.7）	8,885	（18.3）	8,496	（17.5）	12,271	（25.3）	13,653	（28.2）

2 精検結果内訳

	精検受診									精検未把握	精検未受診	総数
	早期がん	進行がん	がん疑い	線維腺腫	乳腺症	嚢胞	乳管内乳頭腫	その他の疾患	異常なし			
総数	121	14	56	243	502	212	68	103	507	170	36	2,032

3 発見がん追跡調査結果

1］調査状況

	追跡調査対象者数（a）	調査除外内訳 詳細把握（b）	調査除外内訳 がん以外（C）	調査除外内訳 その他（d）	追加調査（e）*	調査数（a-(b+c+d)+e）	回収数（%）
総数	193**	6	0	0	3	190	187（98.4）

*追加調査：精密検査結果連絡票ではその他の疾患であったが、記載よりがんが疑われるため調査とした者

**：検査項目が空欄だった精検未把握者2人含む

2］調査結果内訳（調査数及び調査前に発見がんの詳細を把握していた数を併せた詳細）

	発見がん 早期（%）	発見がん 進行（%）	発見がん 不明（%）	良性（%）	経過観察（%）	異常なし（%）	未確定（%）	追跡不能（%）
総数	124（63.3）	32（16.3）	4（2.0）	23（11.7）	6（3.1）	1（0.5）	3（1.5）	3（1.5）

3］検診方式別調査結果内訳

	発見がん 早期	発見がん 進行	発見がん 不明	良性	経過観察	異常なし	未確定	追跡不能
ＭＧ＋ＵＳ	121	31	4	20	5	1	3	3
ＵＳ	3	1	0	3	1	0	0	0

4］発見がん内訳

	受診者数	要精検者数(%)	精検受診者数(%)	発見がん数(%)
29歳以下	155	3(1.9)	2(66.7)	0(0.00)
30～34歳	1,735	87(5.0)	81(93.1)	0(0.00)
35～39歳	3,281	150(4.6)	131(87.3)	2(0.06)
40～44歳	4,265	349(8.2)	305(87.4)	5(0.12)
45～49歳	4,620	297(6.4)	260(87.5)	15(0.32)
50～54歳	4,358	217(5.0)	190(87.6)	9(0.21)
55～59歳	4,138	151(3.6)	136(90.1)	20(0.48)
60～64歳	5,218	160(3.1)	147(91.9)	9(0.17)
65～69歳	7,053	235(3.3)	214(91.1)	41(0.58)
70～74歳	7,974	229(2.9)	215(93.9)	33(0.41)
75～79歳	3,941	103(2.6)	97(94.2)	15(0.38)
80歳以上	1,738	51(2.9)	48(94.1)	11(0.63)
総　数	48,476	2,032(4.2)	1,826(89.9)	160(0.33)

5］臨床病期(Stage)分類別発見数

臨床病期分類		発見数	(%)
早期	0(Tis)	31	(77.5)
	Ⅰ	93	
進行	ⅡA	21	(20.0)
	ⅡB	7	
	ⅢA	2	
	ⅢB	1	
	ⅢC	1	
不　明		4	(2.5)
総　数		160	

※ 両側乳がん4人あり、Stageの高い方に計上

6］組織学的分類別発見数

組織学的分類		発見数	(%)
非浸潤性乳管癌		31	(19.4)
微小浸潤癌		4	(2.5)
浸潤性乳管癌	腺管形成型	26	(16.3)
	充実型	14	(8.8)
	硬性型	34	(21.3)
	亜型不明	15	(9.4)
	その他**	3	(1.9)
特殊型	浸潤性小葉癌	9	(5.6)
	管状癌	1	(0.6)
	粘液癌	2	(1.3)
	髄様癌	1	(0.6)
	浸潤性微小乳頭癌	1	(0.6)
	充実乳頭癌	1	(0.6)
	アポクリン癌	3	(1.9)
不明・未記入		15	(9.4)
総　数		160	

※ 両側乳がん4人あり、Stageの高い方に計上

**：硬性型と粘液癌の混在(1)と硬性型と腺管形成型の混在(2)

4 検診方式別実施状況

1］MG＋US併用方式（MGはMLO1方向撮影、クーポン券利用の40歳代は原則2方向撮影）

(1) 年齢別検診実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)	検査別要精検者数(%)*		精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
			MG	US		
29歳以下	1	0 (0.0)	0(0.0)	0 (0.0)	－ (－)	0 (0.00)
30～34歳	181	20(11.0)	11(6.1)	10 (5.5)	18 (90.0)	0 (0.00)
35～39歳	726	76(10.5)	56(7.7)	28 (3.9)	68 (89.5)	1 (0.14)
40～44歳	4,150	346 (8.3)	223(5.4)	153 (3.7)	302 (87.3)	5 (0.12)
45～49歳	4,590	297 (6.5)	176(3.8)	150 (3.3)	260 (87.5)	15 (0.33)
50～54歳	4,327	215 (5.0)	137(3.2)	102 (2.4)	188 (87.4)	9 (0.21)
55～59歳	4,108	150 (3.7)	102(2.5)	73 (1.8)	135 (90.0)	20 (0.49)
60～64歳	5,183	157 (3.0)	102(2.0)	68 (1.3)	144 (91.7)	9 (0.17)
65～69歳	7,009	233 (3.3)	140(2.0)	125 (1.8)	212 (91.0)	39 (0.56)
70～74歳	7,931	229 (2.9)	130(1.6)	131 (1.7)	215 (93.9)	33 (0.42)
75～79歳	3,900	102 (2.6)	60(1.5)	57 (1.5)	96 (94.1)	15 (0.38)
80歳以上	1,711	48 (2.8)	30(1.8)	26 (1.5)	45 (93.8)	10 (0.58)
総　数	43,817	1,873 (4.3)	1,167(2.7)	923 (2.1)	1,683 (89.9)	156 (0.36)

* 検査別要精検者数については総合判定後の内訳

⑵ 臨床病期（Stage）分類別発見数

臨床病期分類		発見数（%）	
早期	0（Tis）	30	（77.6）
	Ⅰ	91	
進行	ⅡA	21	（19.9）
	ⅡB	6	
	ⅢA	2	
	ⅢB	1	
	ⅢC	1	
不　明		4	（2.6）
総　数		156	

※ 両側乳がん4人あり、Stageの高い方に計上

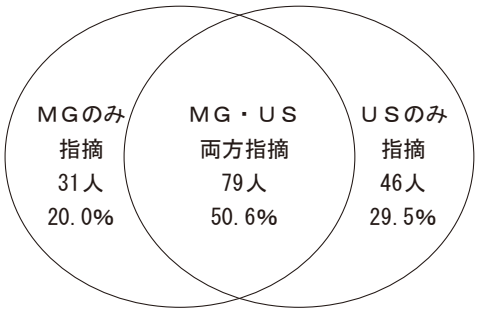
⑶ 組織学的分類別発見数

組織学的分類		発見数（%）	
非浸潤性乳管癌		30	（19.2）
微小浸潤癌		4	（2.6）
浸潤性乳管癌	腺管形成型	26	（16.7）
	充実型	13	（8.3）
	硬性型	33	（21.2）
	亜型不明	14	（9.0）
	その他**	3	（1.9）
特殊型	浸潤性小葉癌	9	（5.8）
	管状癌	1	（0.6）
	粘液癌	2	（1.3）
	髄様癌	1	（0.6）
	浸潤性微小乳頭癌	1	（0.6）
	充実乳頭癌	1	（0.6）
	アポクリン癌	3	（1.9）
不明・未記入		15	（9.6）
総　数		156	

※ 両側乳がん4人あり、Stageの高い方に計上

**：硬性型と粘液癌の混在⑴と硬性型と腺管形成型の混在⑵

⑷ 検査方法別発見がん内訳



⑸ 手術方法

切除範囲	腫瘤摘出術	乳房部分切除術	乳房全切除術	乳頭温存乳房全切除術	不明
総数	1	90	55	1	13

※ 両側乳がんが4人。のべ総数160人。

⑹ 検査方法別発見率及び陽性反応適中度

		MG	US	総数
実施人数				43,817
発見がん数（%）		110（0.25）	125（0.29）	156（0.36）
総合判定前	要精検者数（%）	1,438（3.3）	933（2.1）	2,140（4.9）
	陽性反応適中度（%）	7.6	13.4	7.3
総合判定後	要精検者数（%）	1,167（2.7）	923（2.1）	1,873（4.3）
	陽性反応適中度（%）	9.4	13.5	8.3

⑺ 初回・非初回別実施状況

※令和5年度地域保健・健康増進事業報告より、
初　回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も乳がん検診を受診していない者
非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上乳がん検診を受診している者

1）検査方法別要精検率内訳

	初回（18.3%）				非初回（81.7%）			
	受診者数	要精検者数（%）	検査方法別*要精検率（%）		受診者数	要精検者数（%）	検査方法別要精検率（%）	
			MG	US			MG	US
29歳以下	1	0（0.0）	0.0	0.0	0	－（－）	－	－
30～34歳	120	17（14.2）	9.2	5.8	61	3（4.9）	0.0	4.9
35～39歳	275	40（14.5）	10.2	5.8	451	36（8.0）	6.2	2.7
40～44歳	1,180	171（14.5）	10.3	6.1	2,970	175（5.9）	3.4	2.7
45～49歳	1,109	147（13.3）	9.6	5.5	3,481	150（4.3）	2.0	2.6
50～54歳	974	105（10.8）	8.8	3.9	3,353	110（3.3）	1.5	1.9
55～59歳	850	84（9.9）	7.5	4.4	3,258	66（2.0）	1.2	1.1
60～64歳	994	78（7.8）	6.2	2.1	4,189	79（1.9）	1.0	1.1
65～69歳	1,051	91（8.7）	6.3	3.8	5,958	142（2.4）	1.2	1.4
70～74歳	858	81（9.4）	6.4	4.8	7,073	148（2.1）	1.1	1.3
75～79歳	408	29（7.1）	5.9	3.4	3,492	73（2.1）	1.0	1.2
80歳以上	201	18（9.0）	5.5	5.5	1,510	30（2.0）	1.3	1.0
総　数	8,021	861（10.7）	7.9	4.5	35,796	1,012（2.8）	1.5	1.6

* 検査方法別要精検率については総合判定後の内訳

2）初回、非初回別 病期分類内訳

病期分類		初回：受診者数 /発見率(%)* 8,021/0.71		非初回：受診者数 /発見率(%)* 35,796 /0.28		総数：受診者数 /発見率(%)* 43,817 /0.36	
		発見数（%）		発見数（%）		発見数（%）	
早　期	0	13	(71.9)	17	(80.8)	30	(77.6)
	I	28		63		91	
進　行	ⅡA	8		13		21	
	ⅡB	4		2		6	
	ⅢA	2	(24.6)	0	(17.2)	2	(19.9)
	ⅢB	0		1		1	
	ⅢC	0		1		1	
不　明		2	(3.5)	2	(2.0)	4	(2.6)
総　数		57		99		156	

* 発見率は未記入、不明のものもすべて含む

※ 両側乳がん4人あり、Stageの高い方に計上

2] ＵＳ法

※主に30代のUS単独検診と、40歳以上で当施設が定める禁忌事項に当てはまりMG撮影が出来なかった受診者

⑴ 年齢別検診実施状況

	受診者数	要精検者数（%）		精検受診者数（%）		発見がん数（%）	
29歳以下	154	3	(1.9)	2	(66.7)	0	(0.00)
30 ～ 34歳	1,554	67	(4.3)	63	(94.0)	0	(0.00)
35 ～ 39歳	2,555	74	(2.9)	63	(85.1)	1	(0.04)
40 ～ 44歳	115	3	(2.6)	3	(100.0)	0	(0.00)
45 ～ 49歳	30	0	(0.0)	−	(−)	0	(0.00)
50 ～ 54歳	31	2	(6.5)	2	(100.0)	0	(0.00)
55 ～ 59歳	30	1	(3.3)	1	(100.0)	0	(0.00)
60 ～ 64歳	35	3	(8.6)	3	(100.0)	0	(0.00)
65 ～ 69歳	44	2	(4.5)	2	(100.0)	2	(4.55)
70 ～ 74歳	43	0	(0.0)	−	(−)	0	(0.00)
75 ～ 79歳	41	1	(2.4)	1	(100.0)	0	(0.00)
80歳以上	27	3	(11.1)	3	(100.0)	1	(3.70)
総　数	4,659	159	(3.4)	143	(89.9)	4	(0.09)

⑵ 臨床病期（Stage）分類別発見数

臨床病期分類		発見数（%）	
早期	0(Tis)	1	(75.0)
	I	2	
進行	ⅡB	1	(25.0)
総　数		4	

⑶ 組織学的分類別発見数

組織学的分類		発見数（%）	
非浸潤性乳管癌		1	(25.0)
浸潤性乳管癌	充 実 型	1	(25.0)
	硬 性 型	1	(25.0)
	亜型不明	1	(25.0)
総　数		4	

⑷ 手術方法

切除範囲	乳房部分切除術	乳房全切除術
総数	1	3

⑸ 検査方法別発見率及び陽性反応適中度

	受診者数	要精検者数	発見がん数(%)	陽性反応適中度(%)
ＵＳ	4,659	159	4(0.09)	2.5

⑹ 40歳未満に限定した陽性反応適中度

	受診者数	要精検者数	発見がん数(%)	陽性反応適中度(%)
ＵＳ	4,263	144	1(0.02)	0.7

5 まとめ

令和4年度の受診者数は48,476人であり、令和3年度の47,387人から1,089人増加している。

追跡調査票の回収率は98.4%であり、令和3年度の98.3%から0.1%増加した。発見がん数は160人であった。要精検率4.2%、精検受診率89.9%、がん発見率0.33%、陽性反応適中度7.9%であり、がん検診事業評価指数の許容値を満たしていた。精検受診率は目標値には至らなかった。

1）ＭＧ＋ＵＳ併用方式の受診者数は43,817人で、当施設の乳がん検診の90.4%を占めている。発見がん数は156人であった。要精検率4.3%、精検受診率89.9%、がん発見率0.36%、陽性反応適中度8.3%であり、がん検診事業評価指数の許容値を満たしていた。ＭＧとＵＳ両方で指摘し発見されたがんは79人50.6%、ＵＳのみで発見されたがんが46人29.5%、ＭＧのみで発見されたがんは31人20.0%であった。

平成29年度より分離併用総合判定方式を導入し、今年度は6年目となる。総合判定の対象となったのは2,140人4.9%であり、総合判定後1,873人4.3%が要精検、がん発見率0.36%、陽性反応適中度8.3%となった。令和3年度、総合判定の対象となったのは2,100人4.9%であり、総合判定後1,801人4.2%が要精検、がん発見率0.36%、陽性反応適中度8.4%であった。令和3年度と比較して要精検率はほぼ変化がなく、がん発見率や陽性反応適中度も維持していた。

2）ＵＳ単独方式の受診者数は4,659人であり、がん発見数は4人でがん発見率は0.09%であった。

令和4年度は、令和3年度と比較して要精検率やがん発見率に大きな変化は見られなかった。分離併用総合判定方式を導入して6年目となり、安定した稼働が出来てきているのではないかと考えられる。

発見がん数が前年度と続けてこれまでにない高い値となった。新型コロナウイルスにより受診者数に変動があった影響なのか、乳がんが増加しているためなのか、今後も引き続き動向に注目していきたい。

付表　がん検診事業評価指標との比較

	受診者数	要精検者数（%）	精検受診率（%）	発見がん数（%）	陽性反応適中度（%）
事業団 令和4年度	48,476	2,032（4.2）	（89.9）	160（0.33）	（7.9）
事業団 令和3年度	47,387	1,938（4.1）	（91.5）	153（0.32）	（7.9）
事業団 令和2年度	37,373	1,406（3.8）	（92.7）	112（0.30）	（8.0）
がん検診事業評価指標	許容値	11.0%以下	80.0%以上	0.23%以上	2.5%以上
	目標値		90.0%以上		

※ 乳がん検診の要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は参考値とする

前立腺がん検診

1 検診実施状況

	受診者数	要精検者数(%)
総数	26,634	2,103 (7.9)

※年齢階層別PSA基準値
64歳 以 下：3.00ng/mL以下
65歳～69歳：3.50ng/mL以下
70歳 以 上：4.00ng/mL以下

2 精検結果内訳

	精検受診							精検未把握	精検未受診	総数
	早期がん	進行がん	がん疑い	前立腺肥大症	前立腺炎	その他の疾患	異常なし			
総数	97	16	392	458	30	39	485	460	126	2,103

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追跡調査対象者数(a)	調査除外内訳 詳細把握(b)	がん以外(C)	その他(d)	調査数(a-(b+c+d))	回収数(%)
総数	505	15	0	11	479	453 (94.6)

2] 調査結果内訳

	発見がん 早期(%)	進行(%)	不明(%)	その他の疾患(%)	異常なし(%)	経過観察(%)	未確定(%)
総数	123 (27.2)	15 (3.3)	16 (3.5)	30 (6.6)	69 (15.2)	191 (42.2)	9 (2.0)

3] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数(%)	精検受診者数(%)	発見がん数(%)
39歳以下	12	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.00)
40～44歳	65	1 (1.5)	1 (100.0)	0 (0.00)
45～49歳	210	4 (1.9)	4 (100.0)	0 (0.00)
50～54歳	1,615	47 (2.9)	25 (53.2)	1 (0.06)
55～59歳	1,601	85 (5.3)	50 (58.8)	4 (0.25)
60～64歳	2,682	214 (8.0)	169 (79.0)	14 (0.52)
65～69歳	5,578	442 (7.9)	329 (74.4)	26 (0.47)
70～74歳	7,464	557 (7.5)	454 (81.5)	57 (0.76)
75～79歳	4,505	404 (9.0)	335 (82.9)	32 (0.71)
80歳以上	2,902	349 (12.0)	275 (78.8)	20 (0.69)
総数	26,634	2,103 (7.9)	1,642 (78.1)	154 (0.58)

4] 臨床病期(ABCD分類)別発見数

ABCD分類	発見数(%)
B0	6 (3.9)
B1	77 (50.0)
B2	40 (26.0)
C	11 (7.1)
D	4 (2.6)
不明	16 (10.4)
総数	154

5] 臨床病期(T分類)別発見数

T分類	発見数(%)
T1c	12 (7.8)
T2a	77 (50.0)
T2b	13 (8.4)
T2c	36 (23.4)
T3a	8 (5.2)
T3b	5 (3.2)
T4	2 (1.3)
Tx	0 (0.0)
不明	1 (0.6)
総数	154

⑴ T分類別による所属リンパ節への転移（N）及び遠隔転移（M）の内訳

臨床病期 分類	発見数	所属リンパ節転移(N)				遠隔転移(M)			
		N0	N1	NX	不明	M0	M1	MX	不明
T1c	12	11	0	0	1	11	0	0	1
T2a	77	72	0	0	5	70	1	1	5
T2b	13	12	0	0	1	12	0	0	1
T2c	36	34	1	1	0	34	1	1	0
T3a	8	6	2	0	0	7	1	0	0
T3b	5	4	1	0	0	4	1	0	0
T4	2	1	1	0	0	1	1	0	0
Tx	0	1	0	0	0	0	0	0	0
不明	1	0	0	0	1	0	0	0	1
総数	154	141	5	1	8	139	5	2	8

6］Gleasonスコア別発見数

Gleasonスコア	発見数(%)
5	0 (0.0)
6	25 (16.2)
7	67 (43.5)
8	34 (22.1)
9	21 (13.6)
10	2 (1.3)
不明	5 (3.2)
総数	154

7］治療法別発見数

治療法	発見数(%)
監視療法	11 (7.1)
内分泌療法	30 (19.5)
手術療法	81 (52.6)
放射線療法	25 (16.2)
その他	6 (3.9)
不明	1 (0.6)
総数	154

8］初回、非初回受診別実施状況

⑴ 実施状況

	受診者数	要精検者数	精検受診者数(%)	発見数(%)	発見がん内訳		
					早期(%)	進行(%)	不明
初回	4,719	452	361 (79.9)	58 (1.23)	44 (75.9)	12 (20.7)	2 (3.4)
非初回	21,915	1,651	1,281 (77.6)	96 (0.44)	79 (82.3)	3 (3.1)	14 (14.6)
総数	26,634	2,103	1,642 (78.1)	154 (0.58)	123 (79.9)	15 (9.7)	16 (10.4)

※初　回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も前立腺がん検診を受診していない者
　非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上前立腺がん検診を受診している者

⑵ 臨床病期（ABCD分類）

ABCD分類		初回 発見数(%)		非初回 発見数(%)	
早期	B0	2		4	
	B1	27	(75.9)	50	(82.3)
	B2	15		25	
進行	C	8	(20.7)	3	(3.1)
	D	4		0	
不明		2	(3.4)	14	(14.6)
総数		58		96	

⑶ 非初回受診で発見された96人の前回受診結果と精検受診の状況

	発見がん数	前回受診結果	
		異常なし	要精検（精検未受診者数）
早期	79	39	40 (3)
進行	3	0	3 (0)
不明	14	5	9 (1)
総数	96	44	52 (4)

⑷ 非初回受診で発見された96人のうち進行がんであった3人の令和4年度と前回受診年度の検診及び精検結果状況

ABCD分類	令和4年度受診			前回受診結果		
	検診時PSA値	Gleasonスコア	TNM分類	受診年度	検診時PSA値	精検結果
C	4.95	7	T3a, N0, M0	R3	4.65	結果未把握
C	5.19	7	T3a, N0, M0	R3	4.50	前立腺肥大症
C	6.58	8	T2a, N0, M0	R3	4.76	前立腺肥大症

⑸ 初回受診のうち進行がんであった12人の精検結果状況

ABCD分類	検診時PSA値	Gleasonスコア	TNM分類
C	10.51	7	T3a, N0, M0
C	12.42	7	T3a, N1, M0
C	12.56	9	T3a, N0, M0
C	16.62	8	T3b, N0, M0
C	21.87	7	T3a, N0, M0
C	26.46	8	T3b, N0, M0
C	43.09	8	T1c, N0, M0
C	96.08	9	T3b, N0, M0
D	4.17	7	T2c, N1, M1
D	4.43	9	T2a, N0, M1
D	14.44	7	T4, N0, M0
D	22.40	8	T3b, N0, M1

4 まとめ

今回の発見前立腺がん追跡調査結果では、154人のがんが確定され、がん発見率は0.58％であった。年齢別にがん発見率をみると、50歳以上から加齢とともに上昇傾向を示していた。

発見がん154人の臨床病期（ABCD分類）は、早期がんである病期B群が多く、全体の79.9％を占めていた。また、臨床病期TNM分類のうち原発腫瘍の深達度を分類するT分類では、がんが前立腺内にとどまっているT1c、T2a、T2b、T2cが多く、全体の138人（89.6％）であった。

前立腺がん検診の受診歴別にみると、がん発見率は初回受診群1.23％、非初回受診群0.44％であり、非初回受診群と比較して初回受診群の方が有意に高かった（$p < 0.05$）。臨床病期（ABCD分類）による早期がん割合の比較では、初回受診群75.9％、非初回受診群82.3％と、非初回受診群の方が高かったが有意な差は認められなかった。

非初回受診の発見前立腺がん96人のうち52人は前回検診結果が要精検であり、精検未受診者が4人いた。また、検診時のPSA値が基準値に近い値である進行がんが確認されたことから、要精検者については適切な精密検査の受診勧奨が重要であると思われる。

今回発見された前立腺がんの約8割が早期がんであった。早期に発見された前立腺がんは治療法の選択肢も多く根治の可能性があることから、定期的に前立腺がん検診を受診し要精検となった場合には速やかに専門の精密検査医療機関を受診し、適切な診断・治療を受けることが重要であると考えられた。